

2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社NEXYZ.Group 上場取引所 東
コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘 TEL 03-5459-7444
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	6,397	2.2	323	36.9	271	16.1	74	△1.0
2025年9月期第1四半期	6,260	19.4	236	35.7	233	33.1	74	116.8

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 △263百万円(—%) 2025年9月期第1四半期 393百万円(310.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	5.69	—
2025年9月期第1四半期	5.75	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年9月期第1四半期	23,191	8,257	16.9	301.35
2025年9月期	24,387	8,028	17.8	332.81

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 3,919百万円 2025年9月期 4,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年9月期	—				
2026年9月期(予想)		0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	33,000	16.1	2,000	9.9	1,900	9.0	950	2.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年9月期1Q	13,471,240株	2025年9月期	13,471,240株
2026年9月期1Q	463,297株	2025年9月期	463,057株
2026年9月期1Q	13,008,020株	2025年9月期1Q	13,009,073株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第1四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益が堅調に推移し、設備投資も底堅く推移した一方で、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇、米国の関税政策による影響、世界情勢の緊迫化など、依然として景気の先行き不透明な状況が続いております。

GDP伸び率は、2025年7月～9月に前年同月比0.6%減となりました。消費者物価指数（生鮮食品除く）は、前年同月比2.4%～3.0%の間で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは、今後も成長が見込まれる「ネクシーズZERO」、「アクセルジャパン」の拡大に特に注力しております。

当第1四半期連結累計期間においては、エンベデッド・ファイナンス事業においてキュービクル式高圧受電設備、メディア・プロモーション事業においては「アクセルジャパン」の受注強化を図っており、それぞれ契約数が着実に増加しております。

これらの結果、売上高6,397百万円(前年同四半期比2.2%増)、営業利益323百万円(前年同四半期比36.9%増)、経常利益271百万円(前年同四半期比16.1%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は74百万円(前年同四半期比1.0%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

[エンベデッド・ファイナンス事業]

エンベデッド・ファイナンス事業では、設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の省エネルギー設備等を導入できる「ネクシーズZERO」の提供や、利用者獲得業務及び省エネルギー設備等の販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、地方銀行や信用金庫を中心とした提携金融機関と連携して各地域での営業活動を推進しております。第1四半期においては、業務用空調が好調に推移したほか、工期が長く納品まで時間がかかる一方で、契約金額が大きいキュービクル式高圧受電設備の受注が着実に増加しております。

これらの結果、エンベデッド・ファイナンス事業は、売上高5,243百万円(前年同四半期比4.0%増)、セグメント利益328百万円(前年同四半期比41.1%増)となりました。

[メディア・プロモーション事業]

メディア・プロモーション事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」において、新規売上の最大化を目的として金融機関パートナーと連携し、効率的に決裁者へアプローチする新規営業を実施しております。同時に、更新売上が好調に推移したことで、増収となりました。一方で、電子雑誌やECサポート等各種ソリューション業務においては、電子雑誌「旅色」への飲食店や宿泊施設の広告掲載や、大型の単発案件を対象とした3Dホログラム映像演出サービス等を提供しておりますが、自治体の予算執行が集中する季節性の反動や案件の縮小に伴い減収となりました。

これらの結果、メディア・プロモーション事業は、売上高1,145百万円(前年同四半期比6.4%減)、セグメント利益206百万円(前年同四半期比7.8%減)となりました。

[その他事業]

その他事業では、電力小売「ネクシーズ電力」の提供等を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、新規顧客との契約の増加に伴い、電力供給会社からの手数料収入等が増加した一方で人件費等の経費が増加いたしました。

これらの結果、その他事業は、売上高24百万円(前年同四半期比249.5%増)、セグメント損失2百万円(前年同四半期セグメント損失0百万円)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は23,191百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,196百万円の減少となりました。

① 資産の状況

(流動資産)

流動資産は14,905百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,008百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が206百万円増加した一方で、リース債権が1,358百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は8,285百万円となり、前連結会計年度末に比べて188百万円の減少となりました。これは主に、ソフトウェアが11百万円増加した一方で、投資有価証券が207百万円減少したことによるものであります。

② 負債の状況

(流動負債)

流動負債は10,011百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,051百万円の減少となりました。これは主に、未払金が80百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が682百万円、未払法人税等が437百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は4,923百万円となり、前連結会計年度末に比べて374百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金が325百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は8,257百万円となり、前連結会計年度末に比べて228百万円の増加となりました。これは主に、配当により利益剰余金が351百万円減少した一方で、非支配株主持分が638百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年11月14日公表の「2025年9月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はございません。

なお、連結業績予想の将来予測につきましては、以下のとおりです。

[エンベデッド・ファイナンス事業]

エンベデッド・ファイナンス事業においては、業務用のLED照明、冷蔵庫、空調を中心として様々な設備を取り扱っております。商業、農業、工業の各種顧客のニーズに応じて商品の充実を図ってまいります。また、地方銀行や信用金庫との業務提携を促進させて、提携金融機関経由の受注基盤を強化してまいります。営業人員は引き続き増員を見込んでいるほか、高単価商材の受注や国や地方公共団体の公共工事への入札も強化してまいります。

同事業では2025年9月30日付で、和歌山で長年の電気工事実績を持つ第一電機設備工業株式会社の株式を取得して完全子会社化しております。これにより、有資格者を増やし、電気工事分野の専門性も強化してまいります。引き続き当社にないノウハウや技術、顧客層を持つ企業のM&Aや業務提携も随時検討して事業領域を広げてまいります。

[メディア・プロモーション事業]

プロモーション支援業務につきましては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」において、引き続き新規契約、更新契約を増やし、大幅な売上高増を目指してまいります。

電子雑誌業務につきましては、主力電子雑誌「旅色」において、インバウンド対策の強化やニーズにあわせた新商材を柔軟に追加する多商材化戦略により、広告売上の更なる増加を目指してまいります。

ソリューション業務については、主力サービスである「ECサポートサービス」等の国内外での事業領域の拡大を図ってまいります。

[その他事業]

その他事業につきましては、電気代の回収代行・既存顧客への窓口対応を行っており、影響は軽微と見込んでおります。

上記各事業の前提に基づき、主要事業であるエンベデッド・ファイナンス事業、メディア・プロモーション事業がそれぞれ引き続き伸長することで、増収増益を見込んでおります。

2026年9月期通期連結業績見通し(2025年10月1日～2026年9月30日)

売上高 33,000百万円

営業利益 2,000百万円

経常利益 1,900百万円

親会社株主に帰属する当期純利益 950百万円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,447	8,278
受取手形及び売掛金	2,890	3,097
リース債権	3,436	2,077
商品及び製品	486	608
未収入金	556	472
前払費用	336	414
その他	771	842
貸倒引当金	△1,010	△884
流動資産合計	15,914	14,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	917	925
工具、器具及び備品（純額）	103	104
土地	53	53
その他（純額）	4	6
有形固定資産合計	1,080	1,090
無形固定資産		
ソフトウェア	121	132
その他	0	0
無形固定資産合計	121	132
投資その他の資産		
投資有価証券	5,832	5,624
敷金及び保証金	617	622
繰延税金資産	164	146
その他	949	1,026
貸倒引当金	△291	△356
投資その他の資産合計	7,272	7,063
固定資産合計	8,473	8,285
資産合計	24,387	23,191

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,446	1,764
短期借入金	1,100	1,100
1年内返済予定の長期借入金	1,812	1,775
未払金	665	745
未払法人税等	476	38
解約調整引当金	2,977	3,040
賞与引当金	415	82
その他	1,168	1,464
流動負債合計	11,062	10,011
固定負債		
長期借入金	3,907	3,581
その他	1,389	1,341
固定負債合計	5,297	4,923
負債合計	16,359	14,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	1,001	1,218
利益剰余金	2,170	1,818
自己株式	△900	△900
株主資本合計	2,371	2,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,955	1,680
為替換算調整勘定	2	2
その他の包括利益累計額合計	1,958	1,683
非支配株主持分	3,699	4,337
純資産合計	8,028	8,257
負債純資産合計	24,387	23,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,260	6,397
売上原価	3,170	3,364
売上総利益	3,090	3,033
販売費及び一般管理費	2,854	2,709
営業利益	236	323
営業外収益		
受取給付金	3	—
受取手数料	1	1
その他	3	6
営業外収益合計	8	7
営業外費用		
支払利息	10	17
株式交付費	—	27
寄付金	0	13
その他	0	2
営業外費用合計	11	60
経常利益	233	271
特別利益		
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	6	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前四半期純利益	227	271
法人税、住民税及び事業税	61	55
法人税等調整額	14	97
法人税等合計	76	152
四半期純利益	151	119
非支配株主に帰属する四半期純利益	76	45
親会社株主に帰属する四半期純利益	74	74

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	151	119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	241	△382
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益合計	242	△382
四半期包括利益	393	△263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	221	△200
非支配株主に係る四半期包括利益	171	△62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	28百万円	33百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンベデッド・ファイ ナンス事業	メディア・プロモーション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,030	1,223	6,253	7	6,260	—	6,260
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	—	12	—	12	△12	—
計	5,042	1,223	6,266	7	6,273	△12	6,260
セグメント利益又は損失 (△)	232	224	456	△0	456	△219	236

(注) 1. セグメント利益の調整額△219百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンベデッド・ファイ ナンス事業	メディア・プロモーション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,235	1,136	6,372	24	6,397	—	6,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	8	16	—	16	△16	—
計	5,243	1,145	6,388	24	6,413	△16	6,397
セグメント利益	328	206	535	△2	532	△208	323

(注) 1. セグメント利益の調整額△208百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

(重要な後発事象)

(子会社による投資有価証券の売却)

当社の連結子会社である㈱ブランジスタは2026年2月4日付の同社取締役会決議に基づき、2026年2月4日から2月12日の期間で保有する投資有価証券の一部を売却いたしました。

1. 投資有価証券売却の理由

資産運用の効率化及び投資利益の確定を図るため。

2. 投資有価証券売却の内容

- | | |
|---------------|------------------|
| (1) 売却株式 | 同社が保有する上場株式1銘柄 |
| (2) 売却期間 | 2026年2月4日から2月12日 |
| (3) 投資有価証券売却益 | 2,015百万円 |